

「クローン病手記」 匿名希望 29歳

2014年9月3日

私が、クローン病だと診断されたのは20歳のときでした。お腹が頻繁に痛くなり、病院へ行き大腸の検査をしたところクローン病だと言われました。それからは、食事制限をしてペンタサとミヤBMを飲んでいました。だいたい6年くらいして、その頃の仕事のストレスからか、症状が悪くなり、下血と下痢と痛みが激しくなり、疲れやすくなったとも感じていました。いつもかかっていた病院でそれをいうと、大腸の検査と小腸の検査をすることになりました。結果は悪く、狭窄している部分もあると言われました。それからは、当分食事はエレンタールを飲むように言われました。このままずっとこんなことは続けていけない、なんとかしなければと思い、インターネットを検索しました。そして、松本医院のホームページを見つけました。患者さんたちの手記を読み、松本先生の論文を読んで、なんとか治したいと思い電話をして、来院しました。

初めて来院したのは、2012年2月でした。診察室で先生に、それまでエレンタールだけだったのがなんでも食べていいと言われ、絶対に治ると言われてとてもうれしかったのを覚えています。それから2年半くらい経って、始めに比べたら良くなってきていると思います。他の患者さんの手記を読むと、すぐに下痢が止まったという患者さんが多かったので、私の場合はなかなか止まらないなと思っていたら、結構時間がかかって軟便とかになってきたので、ゆっくりと体が治ってきているのかなと思いました。私の場合リンパ球の値もなかなか上がらず、少しずつ上がって、下がって、また上がってという感じなのでゆっくりゆっくり治ろうとしているのかなと思います。女性は、女性ホルモンの関係で男性よりも治りにくいみたいで、生理の時期になると悪くなったりというのを繰り返しているの、なおさら男性よりも治りにくく、ゆっくりと治りに向かっているのだと思います。ついあせってしまいそうになりますが、あまりあせらずいきたいと思います。まだこれからも、時間はかかると思いますがこれからも松本先生、松本医院の方々どうぞよろしくお願ひします。